



学校だより

～ ひびきあう心 かがやく笑顔 ふれあいの丘 斎藤分 ～

令和5年 4月 28日 5月号

横浜市立斎藤分小学校 校長 黒木 健

～ あなたが人生で影響を受けた人は誰ですか？ ～

校長 黒木 健

初夏を感じさせるような気候が続いておりますが、本校保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。さて今月の学校だよりは、最近あまり聞かれなくなった「問い」を題材に話をさせていただきます。

ここ最近の企業等の採用試験でも、尊敬する人物（自分が影響を受けた人物）や愛読書など、個人の思想信条に関わる質問はしない傾向になってきているようですが、それらが採用試験での質問として相応しくないプライベートなものに属するの否かについては、意見の分かれるところでしょう。今はその解釈は置いておくとして、私にも、これまでの人生の中で少なからず影響を受けた人物が複数います。その人物として最初に挙げたいのが、高校時代に3年間、私の担任を務めてくださった英語科の宮田実先生です。英語を学ぶことの楽しさやその意味、そしてその後、大学で更に英語を勉強してみたいと思うそのきっかけを提供してくれたのは、間違いなく宮田先生だったと言えるからです。続く大学時代では、現在は参議院議員で「国際政治学」が専門の猪口邦子教授（猪口先生の講義はいつも大勢の立ち見が出るほどの人気ぶりでした）や、その当時、NHKの英会話番組にも出演していた「応用言語学」の吉田研作教授、そして何と云っても「英語学」の世界的権威である渡部昇一教授など、彼らの講義や著作からは、本当に大きな影響を受けました。また直接お会いしたことはないものの、「沈まぬ太陽」や「不毛地帯」などの著作で有名な作家の山崎豊子氏など、その著作のみを通じて刺激を受けた人物も含めれば、その人数は相当数に上ります。

誰しも生きていく中で他者との関わりやコミュニケーションは不可避であり、そうした様々な機会を通じてこれまでに出会った人物（著作やネットを通じて知った人物なども含む）から、いつの間にか大きな影響を受けていたというような経験は、誰にでも日常的によく起こり得ることでしょう。加えて、これほどまでにネットが高度に発達した情報化社会にあっては、誰もが多くの人と簡単につながることができ、また一方で自身がインフルエンサー（影響を与える側）になることも、さほど難しいことではなくなっているのかもしれませんが。

このようなことも踏まえつつ、学校でのことに話題を戻しますと、確かに学校でも「あなたの尊敬する人物を教えてください？」とか、「あなたの愛読書は何ですか？」などと問われることは、最近ではあまりなくなったような気がします。それに敢えて声に出して答えなくとも、心の中でそうした思いをもつことは、今後の自分の可能性を広げていく意味でも必要不可欠なことなのではないかと思っています。例えば、ある文学者のことが好きな児童生徒がいるとして、もしその著作に夢中になれば、「この文学者の全著作を読みたい。」「この文学者の背景についてもっと知りたい。」或いは「それよりもまずは、しっかりと文章が書けるようになりたい。」などといったような知的好奇心を生み出すきっかけにも繋がっていくのかもしれませんが。凡人の私には、既出の知識人のレベルに迫ることなど全くもって叶わないことでしたが、しかしその当時、彼らに憧れをもちながら、今の自分を少しでも高めたいという思いをもつことができたことは、その後の人生に大きなプラスを与えるものであったのではないかと振り返っています。最近あまり聞かれなくなった「問い」から、時にはこのようなことを考えてみることも、意味のあることなのかもしれません。